

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI 要因と課題

基本目標1 子育て世帯をターゲットとした教育環境の充実（教育環境）

学校生活に満足している児童・生徒の割合(①小学生)		H26	H27	H28	H29	H30	R1	めざそう値
	実績(%)	95.8	95.2	93.4	94.7	90.6	92.1	95.0

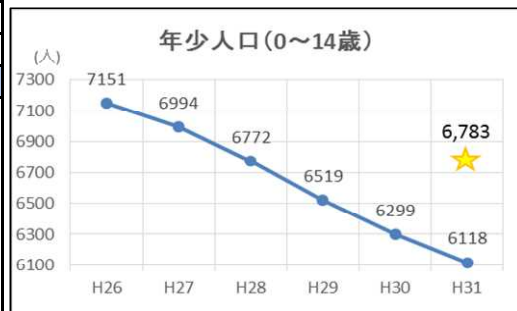
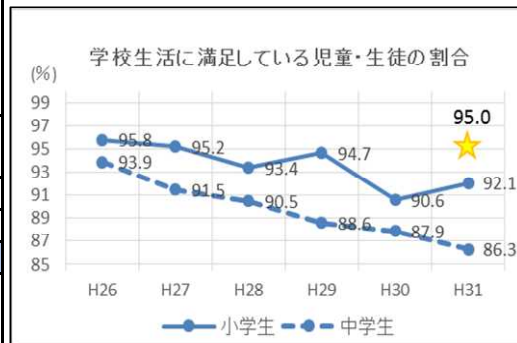
R1状況	誘因・要因・課題
前年度から1.5%上昇しましたが、めざそう値(R1)に比べて2.9%低い状況です。	令和元年度調査において、児童数が少ない小規模校の児童の満足度が大きく上昇したことにより全体の満足度が押し上げられた傾向があります。あずま小児童の満足度は100%であり、全ての児童が学校に対し充実感を抱いている状況です。きめ細やかな指導などによるものと考えられます。
備考：「学校評価がトライル」(文部科学省)に従って各学校が行った学校評価の結果を集計して取りまとめています。	

学校生活に満足している児童・生徒の割合(②中学生)		H26	H27	H28	H29	H30	R1	めざそう値
	実績(%)	93.9	91.5	90.5	88.6	87.9	86.3	95.0

R1状況	誘因・要因・課題
前年度から1.6%減少しており、めざそう値(R1)に比べて8.7%低い状況です。	令和元年度調査において、満足度の低下傾向が続いています。学校によって満足度が大きく上昇したところや、反対に大きく低下したところがあり、学校環境による影響などもあるようです。全体的には満足度が低下している状況から、教育環境を充実させるための取組について、総合的に効果を高めていく必要があります。
備考：「学校評価がトライル」(文部科学省)に従って各学校が行った学校評価の結果を集計して取りまとめています。	

年少人口(0~14歳)		H26	H27	H28	H29	H30	R1	めざそう値
	実績(人)	7,151	6,994	6,772	6,519	6,299	6,118	6,783

R1状況	誘因・要因・課題
前年度から181人減少しており、めざそう値(R1)に比べて665人少ない状況です。	毎年の出生数が年々減少していることに伴い、年少人口も年々減少しています。これは、みどり市に限ったことではなく、全国や県全体でも同様の推移となっています。出生数の増加を図るとともに、魅力的な教育環境を充実させ、PRすることで、みどり市で教育を受けさせたいと思う人を増やし、子育て世帯の流入促進・流出抑制を図ります。



みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI 要因と課題

基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育て等の希望の実現（結婚・子育て）

合計特殊出生率		H26	H27	H28	H29	H30	R1	めざそう値
	実績	1.53	1.62	1.51	1.45	1.45	1.40	1.66

R1状況	誘因・要因・課題
前年度から0.05ポイント低下し、めざそう値（R1）に比べて0.26ポイント低い状況です。	令和元年度の全国と県全体の合計特殊出生率（全国：1.36、県全体：1.40）はそれぞれ前年度から0.06ポイント程度低下しており、みどり市においても同様の結果となっています。数値が低下し、めざそう値との差が開いていく傾向にありますので、育児の負担軽減を図るだけでなく、子どもを産み育てたいと思える支援施策や、より多くの人がそう思える環境整備が必要です。



子育てしやすいまち(環境)だと思える保護者の割合		H26	H27	H28	H29	H30	R1	めざそう値
	実績(%)	80.4	75	75.8	86.6	83.6	84.1	85.0

R1状況	誘因・要因・課題
前年度から0.5%上昇しましたが、めざそう値（R1）に比べて0.9%低い状況です。	「子育てしやすいまちだと思っていない」と回答した保護者は、親子2世代の家族構成の方が73.1%を占めており、職業別で見ると会社員やパートなど働きに出ているの方が50%と最も多い割合になっていますが、次いで家事専業の方が25%を占めています。前年度に比べて働きに出ている方の割合が減少していることから、学童保育の充実などで子育ての負担が減少していると思われる。一方で、市民アンケートでは「公園不足」という意見も散見され、様々な角度から子育て支援を充実させる必要があります。



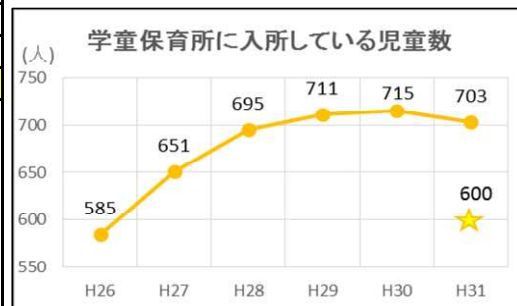
出生数		H26	H27	H28	H29	H30	R1	めざそう値
	実績(人)	392	408	377	349	330	306	421

R1状況	誘因・要因・課題
前年度から24人減少しており、めざそう値（R1）に比べて115人少ない状況です。	ここ数年の出生数は減少傾向で、令和元年実績も前年より減少しており、全国の出生数も1899年の調査開始以降、最少となっています。人口減少に加えて、晩婚化や晩産化、未婚者の増加、若者の出産に対する考え方の変化等の影響が大きいと推測されますので、これらの課題を一つ一つ解消し、出産・子育てに前向きになれる取組を推進する必要があります。



学童保育所に入所している児童数		H26	H27	H28	H29	H30	R1	めざそう値
	実績(人)	585	651	695	711	715	703	600

R1状況	誘因・要因・課題
前年度から12人減少しておりますが、めざそう値（R1）を103人超過しています。	前年度より入所児童数は若干減少したものの、平成27年度から依然としてめざそう値より多い実績となっています。年少人口が減少し続けているのに対し、入所児童数はほぼ現状維持であることから、働く女性が増えていると推察されます。共働き世帯にとって、利用しやすい学童保育所を維持していきます。

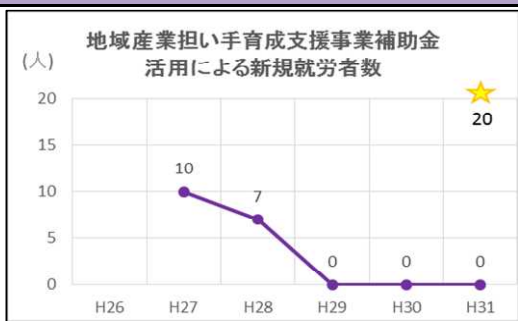


みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI 要因と課題

基本目標3 みどり市の特性を活かした地域雇用の拡大 (はたらく場)

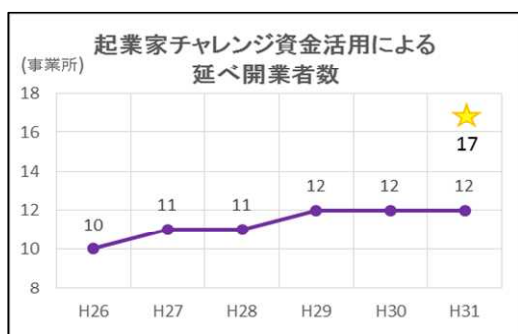
地域産業担い手育成支援事業補助金活用による新規就労者数		H26	H27	H28	H29	H30	R1	めざそう値
	実績(人)	-	10	7	0	0	0	20

R1状況	誘因・要因・課題
前年度と変わっていません。めざそう値(R1)に比べて20人少ない状況です。	事業開始当時から企業訪問等でPRは行ってきたものの、新規利用事業者がないことから、H29年度に事業を中止したため実績は0となっています。



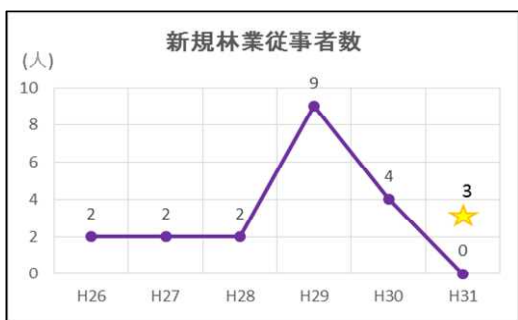
起業家チャレンジ資金活用による延べ開業者数		H26	H27	H28	H29	H30	R1	めざそう値
	実績(事業所)	10	11	11	12	12	12	17

R1状況	誘因・要因・課題
前年度と変わっていません。めざそう値(R1)に比べて5人少ない状況です。	本制度への問合せは数件ありましたが、実施には至りませんでした。国や県による創業補助金や民間・政府系金融機関による創業者向け融資が充実しており、市の制度以外の選択肢が充実してきています。創業希望者のうち市の支援を受けずに創業する人もおり、創業者の要望に沿った事業を検討するほか、本制度を広く周知する必要があります。



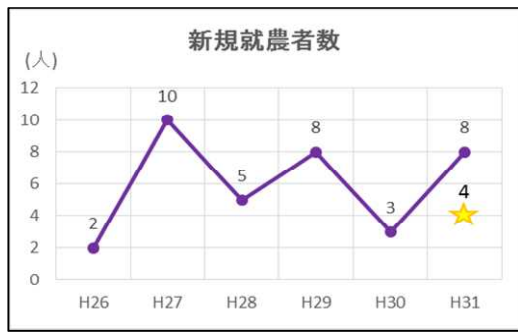
新規林業従事者数		H26	H27	H28	H29	H30	R1	めざそう値
	実績(人)	2	2	2	9	4	0	3

R1状況	誘因・要因・課題
前年度から4人減少しており、めざそう値(R1)に比べて3人少ない状況です。	研修生の受入等を行っている林業家もいましたが、市内での就業には至りませんでした。なお、みどり市地域おこし協力隊では林業従事希望者を積極的に受け入れており、令和2年度にはその0G1名が林業に従事しています。今後も林業従事者候補の受け皿としての機能を発揮していくことが期待されます。また、令和元年から「林業体験イベント」を実施しておりますが、林業従事者を増加させるためには内容や対象の検討が必要と考えます。



新規就農者数		H26	H27	H28	H29	H30	R1	めざそう値
	実績(人)	2	10	5	8	3	8	4

R1状況	誘因・要因・課題
前年度から5人増加しており、めざそう値(R1)に比べて4人多い状況です。	令和元年度新規就農者は8名と、めざそう値の2倍という結果でした。Uターン就農が半数を占めておりますが、出身が農家ではない新規参入者も2名いました。今後もこの水準が維持できるよう、就農支援政策により新規就農者の増加を図ります。



みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI 要因と課題

基本目標4 安心して住み続けられる環境づくりと移住促進（移住促進）

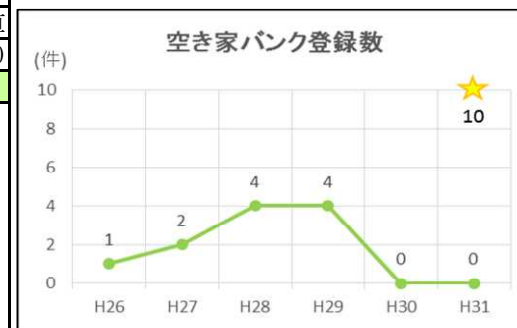
転入者数		H26	H27	H28	H29	H30	R1	めざそう値
	実績(人)	1,562	1,674	1,625	1,516	1,545	1,667	1,560

R1状況	誘因・要因・課題
前年度から122人増加しており、めざそう値（R1）と比べて107人多い状況です。	平成30年度にそれまでの減少傾向から増加に転じ、令和元年度転入者数は更に増加し、めざそう値を上回る結果となりました。しかし、前年度と同様に令和元年度も転出超過であり、令和元年度における本市の社会増減率は、県内12市のうち8番目と低迷しています。引き続き、東京圏等から本市への人の流れが生まれるよう、良好な子育て環境や住環境を効果的にPRするとともに、移住相談会など移住・定住を促進する積極的な取組も必要です。



空き家バンク登録数		H26	H27	H28	H29	H30	R1	めざそう値
	実績(件)	1	2	4	4	0	0	10

R1状況	誘因・要因・課題
前年度と変わっておりません。めざそう値（R1）と比べて10件少ない状況です。	平成29年度まで登録数は増加傾向にありましたが、平成30年度から登録実績がありません。空き家を買いたい・借りたい人の問い合わせはあるものの、空き家所有者からの相談等はありませんでした。空き家所有者に働きかけ、空き家バンク制度を丁寧に説明し理解していただくことで、まずは登録物件を増やすことが重要です。



新規住宅建築件数		H26	H27	H28	H29	H30	R1	めざそう値
	実績(件)	223	230	174	180	185	240	220

R1状況	誘因・要因・課題
前年度から55件増加しており、めざそう値（R1）と比べて20件多い状況です。	近年で最多の実績となりました。令和元年10月に消費税が10%に増税されたことによる駆け込み需要が前年実績を大幅に押し上げた要因と考えられます。今後は、駆け込み需要の反動による減少など、社会情勢の影響も想定されますが、引き続き新築住宅建築による定住人口の増加を図るため、住みやすい環境をPRするなどしていく必要があります。



みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI 要因と課題

基本目標5 地域特性に応じた魅力発信と定住促進（観光）

入込観光客数		H26	H27	H28	H29	H30	R1	めざそう値
	実績(万人)	242	243	259	237	241	233	300

R1状況	誘因・要因・課題
前年度から8万人減少しており、めざそう値（R1）に比べても67万人少ない状況です。	群馬 DESTINATION キャンペーンのプレ期間であった4～6月は前年同月を上回る実績でしたが、台風の影響による「ひまわりの花畑まつり」の中止や、新型コロナウイルス感染症流行に伴う「カタクリさくらまつり」等の中止、さらには施設の休館などが要因となり、前年度を下回る実績となりました（令和2年1～3月は前年同月比で約85,000人の減）。令和2年度においても新型コロナウイルスの影響が続いていることから、新たな生活様式に適應した観光スタイルの提案をしていく必要があります。



みどり市観光ガイドの会利用者数		H26	H27	H28	H29	H30	R1	めざそう値
	実績(人)	2,590	5,206	5,103	5,250	3,797	4,336	3,500

R1状況	誘因・要因・課題
前年度から539人増加しており、めざそう値（R1）より836人多い状況です。	令和元年度は4～5月の大型連休とカッソソウの特別公開が重なったことや、前年よりも紅葉シーズンに大手旅行業者からのガイド依頼が増えたことなどにより、利用者数が増加しました。引き続き、みどり市観光物産協会などと協力し、新規顧客獲得のための効果的な観光宣伝を行い、利用者の増加を図ります。



わたらせ渓谷鐵道利用者数(参考指標)		H26	H27	H28	H29	H30	R1	めざそう値
	実績(人)	417,685	439,345	412,040	391,497	378,259	367,094	430,000

R1状況	誘因・要因・課題
前年度から11,165人減少しており、めざそう値（R1）に比べて62,906人少ない状況です。	年度ごとの減少幅は縮小したものの、令和元年度も前年度比マイナスとなっています。令和元年度上半期の利用者数は4、5月の観光需要増により前年度実績よりも多かったものの、下半期に大型台風の直撃や紅葉シーズンの客足減少、さらには新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛の影響で前年を大きく下回りました。東地域及び大間々北部地域の少子化の影響から、通学定期利用者の維持は容易ではありません。感染症対策を万全にした上で、日光を絡めた観光客の誘客を図るなど、鉄道事業者や沿線自治体と連携し、観光利用者の増加に努めます。

